

第45期富士見市民大学公開講演

# 鎌倉殿に消された 東上線沿線の武士

武蔵丘陵の地誌と

畠山重忠・比企能員・河越重頼らの事績を中心に

講師：宮瀧 交二氏

平成4年

10月2日(日)

13:30~15:30

鶴瀬公民館

日時：令和4年10月2日(日)

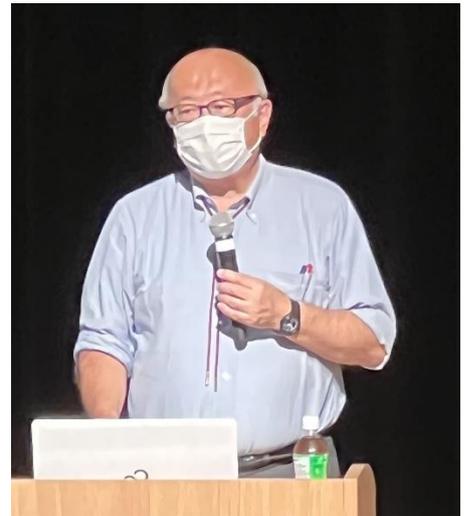
午後1時30分~3時30分

会場：鶴瀬コミュニティセンター ホール

講師：宮瀧 交二(みやたき こうじ)氏

大東文化大学 文学部 歴史文化学科 教授

参加者：172名



宮瀧 交二氏

## 公開講演会テーマ

### 鎌倉殿に消された“東上沿線の武士団”

武蔵丘陵の地誌と畠山重忠・比企能員・河越重頼らの事績を中心に

宮瀧先生より自己紹介、神奈川県茅ヶ崎で少年期を過ごされた折のエピソードを披露。

9月9日「チョコちゃんに叱られる！」でテレビ出演、座布団の房はなぜ付いているのか？で回答。またブラタモリの「大宮」でも登場。

先生は趣味で全国の駅弁の包装紙を300枚ほど集められているが埼玉の駅弁がなく残念そう。

さらに余談で1868年、明治維新100年は東北7県では戊辰戦争から150年。仙台博物館では特別展「戊辰戦争から150年」を開催。

会津の出身者は「薩摩の人間とは付き合うな」と故郷で言われたとか、つまり150年では人の記憶は消えないということです。

会場に「大河ドラマを見ている人？」先生の質問に手を挙げる人多数、先生は「ざっと128人ですね。これで今日は話しやすくなった。」(\*\_\*;)

今の学生は家族と大河ドラマを見た経験がない、下宿にテレビがなく、時代劇をそもそも見ない。

以前は、時代劇ドラマで勧善懲悪、社会のルールを教えてもらえたのに。

また学生本人が専攻した歴史を学んでいるのに旅籠、代官・商人などが分からなく、説明に15分もかかる。

仕方がないのでテレビドラマ「水戸黄門」を見せたことがある。

今日の会場には大河ドラマで下地のできている方々が多いが、改めて大河ドラマがどういう主人公、時代背景に基づいているか説明があった。

第1回（1963）年「花の生涯」から第61作（2022）年の「鎌倉殿と13人」まで。

もっとも古い時代を扱ったのは第14作（1976）年 海音寺潮五郎原作「風と雲と虹と」で主人公は平将門、第17作（1979）年「草燃える」で畠山重忠を取り上げた。

時代とともに女性を主人公にした作品が増えた。

「女城主 直虎」など少ない資料から脚本化、実は男性説がある、「八重の桜」も非常に乏しい資料を膨らましている。時代考証かエンターテインメントか。



## 1. 鎌倉殿の13人とは

源頼朝が亡くなった後は13人の有力な御家人による合議体制をとった。

長男 頼家を補佐する。鎌倉殿とは鎌倉幕府の棟梁をさす言葉で、将軍はもとより執権の北条氏を指すことも。

大河ドラマ「鎌倉殿と13人」人物関係図参照。

13人の御家人が明らか。

### I 比企能員（よしかず）について

#### ① プロフィール

生年不詳～建仁3年（1203）年没、鎌倉時代初期の武蔵武士。比企の尼の甥、養子となり頼朝に重用される。寿英元（1182）年頼朝の長男頼家誕生に妻が乳母を務めた。頼朝没後の正治元（1199）年、北条時政ら13人の有力御家人の合議体制に参加。

娘の若狭の局が頼家の室になって一幡を生む。能員は外祖父となって権勢をふるう。

子の時員らも頼家の側近として重用された。

そのため北条時政らと対立をし、時政の討伐を図ったが、知られて謀殺された。同日、幕府軍により比企氏一族は全滅をさせられた。



## ② 比企一族の出自

乳母であった比企の尼とその夫は、栄暦元（1160）年頼朝が伊豆に流された後、京あるいは西国から武蔵郡比企郡に移り住み、そこから頼朝を支援したというのが妥当だろう。関西出身で請書により関東地方の村をもらう。

当然、頼朝の乳母として情もあつたろうが、源氏が天下を取ればという打算、先行投資もあつたのでは。

比企氏は武蔵国古来の開発領主とはみなさない。

一方で秩父氏を中心にした、いわゆる武蔵武士は、秩父地域を本拠にした秩父氏と血縁、地縁的に連なる出自を持つものが大半であった。

岩殿案内図参照。足利基氏館跡の案内板、弁天沼（浄土庭園、阿弥陀堂？）などがあるが比企氏の館跡ではないか。今後の調査が待たれる。

## II 秩父重綱（生没年未詳）

恒武平氏に連なる中世武士団、系図、それぞれ家名を変える。

武蔵国府の在庁官人で、武蔵七党に対する指揮権を有する武蔵国留守所総検校職と秩父氏の家督は、重綱から次男、重隆の系統、河越氏の祖に伝えられた。

## III 畠山重忠について

### ① プロフィール

長寛2（1166）年生～元久2（1205）年没。鎌倉時代初期の武蔵武士。恒武平氏の流れを汲む秩父氏の一族。

畠山庄（旧川本町、現深谷市）が名字（同一氏から分かれ出て、その住む地名などをつた家の名）の地。

父は重能、母は三浦義明の娘。

治承4（1180）年源頼朝が挙兵した当初は平氏に属したが同年10月、墨田川の長井の渡しで頼朝に帰順し、頼朝が鎌倉に入る際は先陣を務めた。

元暦元（1184）年1月 源義経に従い、宇治川の合戦で木曾義仲を討ち破った。「吾妻鏡」「平家物語」で勇壮な戦いぶりが記述されている。

建久元（1190）年当時、武蔵国留守所総検校職にあったと思われる。同年3（1203）年、北条義時に従い、比企一族の討伐に加わった。

同年、鎌倉の寺社奉行に選ばれ、永福（ようふく）寺を担当。元久元（1204）年11月、重忠の息子重保が京都での喧嘩がもとで北条時政は謀反の罪で畠山一族を討滅することを決意。

元久2年6月22日、菅谷館から鎌倉に向かう途中、幕府軍に二俣川（横浜市）で待ち伏せされ壮絶な最期を遂げた。墓と伝えられる五輪塔が川本町（現深谷市）にある。映像で紹介。骨壺があり、蓋は地元産のすり鉢が伏せられている。

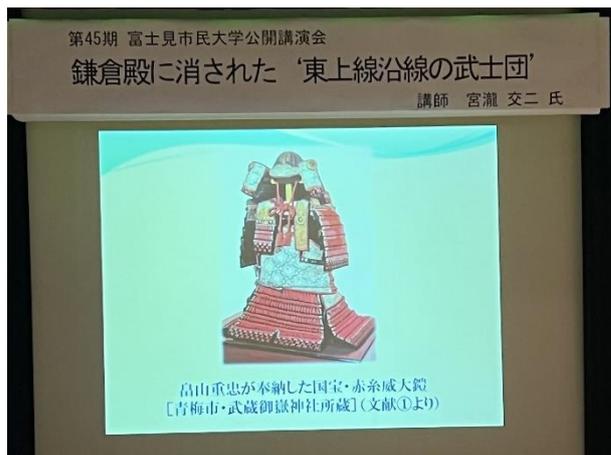
情理をわきまえた武蔵武士で後世に多くの逸話を残した。強力で伝説的な武将。松尾芭蕉の俳句に読まれた。

建久2（1191）年、重忠が奉納した赤糸威大鎧は保存状態がよく、国宝になっている。武蔵御嶽神社宝物殿（青梅市）保管。

歴史に名を遺す武蔵武士とは別に民衆に着目すべきでは。現代の私たちまで営々と生きてきたご先祖がいたからこそ今日がある。

自分の両親2人、2代前の（祖父母）は4人、3代前（曾祖父母）は8人、こうして10代前まで遡ると1024人います。そして、その先祖の総数は2046人になります。

この埼玉の歴史を動かしてきたのは、皆さんや皆さんの祖先も歴史に名を遺す著名な人々



とともに歴史を動かしてきたといえるでしょう。

何故、著名な歴史上に名を残した人物とその生涯について学ぶのか。歴史上の先人の生き様から多くのことを学ぶことができる。他者への共感をえる。

現代は自助の時代といわれ他者への関心・共感を忘れがちです。今後の少子化、人口減少時代に他者への共感を生きる糧にして、手を取り合って生きていきたいものです。

#### IV 鎌倉街道について

鎌倉街道は主要な大きな道に毛細血管のような細い道が縦横に伸びていた。九州からも鎌倉へ辿れる道筋がある。

私たちの街にも見つけることができる。先ず図書館、博物館、資料館などで資料を当り学芸員に聞き取り調査をして、その現地に行ってみる。

さらに、変化の激しい時なのでなくなる前に道の撮影をして保存。

自分たちでまとめることが大事で街の歴史を知り一層、愛着を持てるようになる。



挨拶する 瀬戸理事長



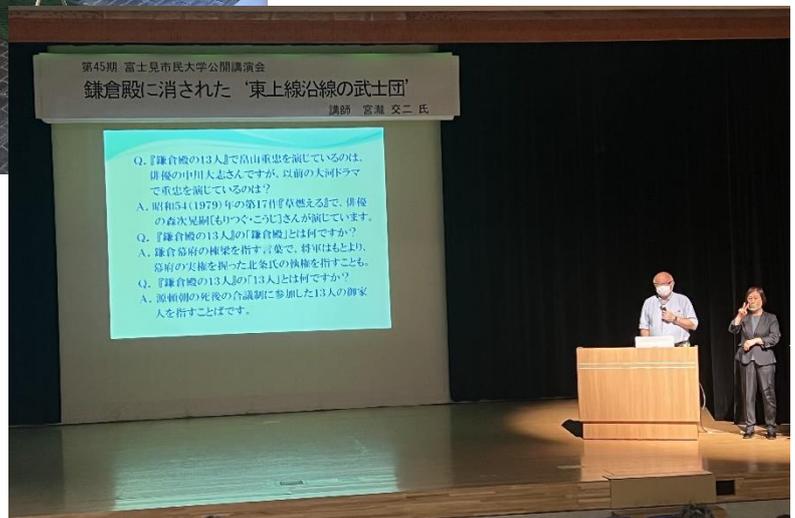
挨拶する 中田鶴瀬公民館長



要約筆者と講師打ち合わせ



瀬戸理事長、宮瀧交二講師、中田鶴瀬公民館長



# アンケート集計結果

## 公開講演会

日 時：令和4年10月2日（日）午後1時30分～3時30分  
会 場：鶴瀬コミュニティセンター ホール（鶴瀬公民館）  
講 師：宮瀧 交二（みやたき こうじ）氏  
大東文化大学 文学部 歴史文化学科 教授

参加者 172名

申 込 者 145名（申込総数162：欠席17）  
当 日 参 加 10  
ス タ ッ フ 17（理事8、手話関係5、公民館3、講師1）

## アンケート集計結果

講演会受講者数 155人  
アンケート回収 78人  
回収率 50.3%

### 1. 講演会について

項 目	満足	普通	不満足	合計	満足度
内容について	68	7	1	76	89.5%
講師について	69	9	1	79	87.3%
スタッフの対応について	49	24	4	77	63.6%
合 計	186	40	6	232	80.2%
満足度	64.5%				

### 不満について

- ・予定（ポスターに載ってた）時間とずれていた
- ・質問時間をとって下さい
- ・無言で熱を測るのは不愉快。声をかけて下さい
- ・遅い、けどお忙しい方なんです
- ・今回同様講座内容の要約を配ってほしい 老人には助かります。
- ・不満と言う程ではないが、資料の配付に工夫が必要、資料の枚数の確認等、又携帯マナーモードの案内

- ・資料配付の不手際 2人
- ・会場が寒すぎる、換気と温度は関係ない。
- ・講師の声が小さい、聴きずらかった

## 2. 来期以降の講座、講演会について、取り上げて欲しいテーマテーマや講師名などを記入下さい

- ・地元の民芸、文化
- ・地域の歴史上の人物、南畑城の盛衰
- ・もう一度同じテーマで 2人、ロシアについて
- ・県内、関東の偉人やTVの放送された歴史上の人物
- ・ふじみ野、富士見市の地層
- ・TA及び役所の方「藤見氏の農業の今後」畑作税上昇及び後継者の現状
- ・地域の歴史、富士見市の近代史（昭和史）
- ・戦国期の地域の歴史くらし、武将、武士団がいた？古尾谷氏。古文書から
- ・太平記、宝治合戦の時代を取り上げてほしい
- ・来年の大河ドラマ主人公
- ・高麗川、新座等朝鮮半島から帰化した人たちと武蔵国人の関わり
- ・紫式部と源氏物語
- ・富士見市の近代史（昭和史）
- ・富士見市の地域の歴史。今回の講師には又来ていただきたい
- ・自治会のデジタル化、
- ・人生1000年時代の暮らし方（シニア）シニアの地域デビューの方法

## 3. 本講演をどこでお知りになりましたか。

①	市民大学からのお知らせ	9
②	市民大学HP	0
③	掲示板ポスター	21
④	市広報	41
⑤	お知り合いからのお誘い	5
⑥	その他（鶴瀬公民館 他）	3

## 3. 回答者の属性について

性別

項目	男性	女性	他	合計
性別	41	32	3	76
割合 (%)	53.9%	42.1%	4.0%	100%

年 齢

	50歳以下	51～60歳	61～70歳	71歳異常	合計
年 齢 (人)	6	7	16	47	76
割合 (%)	7.9%	9.2%	21.1%	61.8%	100%

お住まいの地域

順位	地 域 名	人 数
1	鶴 瀬 地 域	25
2	み ず ほ 台 地 域	10
3	ふ じ み 野 地 域	10
4	関 沢 地 域	6
5	羽 沢 地 域	6
6	三 芳 地 域	3
7	水 谷 地 域	3
8	上 沢 地 域	2
9	渡 戸 地 域	2
10	鶴 間 地 域	1
11	南 畑 地 域	1
12	水 谷 東 地 域	1
	そ の 他	3
	計	73

4. 富士見市民大学全体に関する要望など御座いましたらご記入ください。

- ・もう少し講座を増やしてほしい、有料でも
- ・このような講座をもっと多く開いてほしい
- ・今回のような参加方法がとても楽しみ

報告 加藤久美子